

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

7

Jul 2019
No.292



手芸作品で生まれる笑顔が私の作製の原動力

ENJOY LIFE

エンジョイライフ

かとう ひさこ
櫛引支所管内 加藤 久子さん(83)



約一か月かけて作った、雛祭りにもピッタリなミニひな壇です。



昔から手芸が趣味で、服や座布団などを手作りしていました。約20年前に集落の老人クラブの友人から手芸の講師を頼まれ、今でも冬期間に約10人で集まって和気あいあいと自分の趣味を満喫しています。

今まで空いた時間があれば、傘福や小さな人形、ミニひな壇、毎年の干支をモチーフにした作品などを仕上げてきました。当初は手の込んだものを作るのは難しく、本などを参考にしていました。今では作ったことがないものでも、長年の経験と知識で形づくれるようになり、次は刺し子にも挑戦してみたいです。

作品を友人にプレゼントしたり、小さな孫に見せたときの喜ぶ笑顔がとても嬉しいです。今後もオリジナルのものや季節・行事に合ったものなどを揃えていきたいです。

SHONOSEI TRY

庄農生トライ



私の夢に「花活」をプラス

なかがわ なごみ
食品科学科3年 仲川 和心さん 酒田市



私は小学生の時、アトピー性皮膚炎に悩まされ、鶴岡市羽黒町にあるハーブ研究所へ家族とともに訪れました。研究所では、天然素材と自家栽培したハーブで私の肌に合う石鹼を製造して頂きました。様々な香り高いハーブと色とりどりの草花があるガラス温室の中で、私は草花に関わる仕事をしたいと考えました。

庄内農業高等学校に入学後、農業の授業「草花」で栽培管理や土壤など、多くの栽培技術を学びました。また、学校に自生する草花を使った草木染めの研究とともに、学校で育てた草花を介護施設に定植する園芸活動を行いました。その時、園芸活動とは「花活」という介在活動の1つであることを知りました。

私は将来、草花の利用を専門的に学び、花活の交流や文化を地域に根付かせていきたいと思っています。

高品質なものを消費者に届けたい

FAMILY FARM

ファミリーファーム

(史紀さん) 祖父も高齢になったため、家業であった農業を約3年前に継ぎました。現在は母と協力しながら、水稻5.3haを中心に、軟白ねぎと大豆を合わせて5haで栽培しています。高品質に仕上がった農産物を家族や友人などが「美味しい」と食べてくれることが農家として喜びを感じます。

2年前、稻作以外のこととしてみたいと思い、JA全農山形の研修農場で軟白ねぎなどの栽培方法を1年間学びました。そして昨年に初めて軟白ねぎの定植に取り組み、収量は確保できましたが、土寄せ作業が不十分だったためB品が多い傾向にありました。今年は反省点を活かしながら、A品出荷率を高め、消費者に確かなものを届けたいです。

農家を継いで日が浅いですが、家族や同世代の担い手、地域の農家の方などに教わりながら協力し合う日々に充実感があります。今後の目標として、これまで委託してきた大豆の圃場を露地ねぎ栽培に切り替え、経営の向上に努めていきたいです。



軟白ねぎの苗を定植する際にできた欠株部分に補植しています。

藤島支所管内

とがし まさき ふみのり
富樺 真紀さん(63)・史紀さん(27)



朝日支所管内 佐藤 栄太くん(3)・弘基くん(1)



最近は兄弟二人で本を読んだり、追いかけっこをすることに夢中です。

栄太くんはちょっと人見知りだけど元気いっぱいのわんぱく男子。パズルが得意で、50ピースの難しいものでも簡単に解いてしまいます。

弘基くんは歩くよりも先に話し始めた、とてもおしゃべり好きな男の子。白米やパンが好物で、何でも好き嫌いせず食べます。

「今は喧嘩しても、大きくなったら兄弟同士で刺激し合って、仲良く協力し合ってほしい」とご家族からでした。



美味しく育ってね 農業1本馬鹿記

6/5 横浜市立浦島小学校



神奈川県横浜市立浦島小学校の5年生児童85人は青山農場で田植え体験をしました。JA青年部三川支部や地元の生産者らと、こゆきもこの苗の手植えに挑戦しました。



6/10 三川町立押切小学校



三川町立押切小学校の5年生児童11人はJA青年部三川支部と一緒に、はえぬきの苗を手植えしました。児童たちは足で泥の塊を砕く、代わりに作業も体験しました。

6/7 鶴岡市立藤島小学校



鶴岡市立藤島小学校の4年生児童62人は同地区的生産者で構成される「畑の先生」の指導のもと、大豆「リュウホウ」の種を蒔き、今後の成長を観察しています。



産直んめ農マルシェ SNS開設しました!

この度、「産直んめ農マルシェ」がツイッター(Twitter)とインスタグラム(Instagram)を開設致しました。

旬な野菜や果物の情報、本日のおすすめ、イベントなど、お得な情報を画像や文字でわかりやすく・リアルタイムに発信しております。スマートフォンやパソコンをお持ちの方でインターネット環境にある方は、ぜひ閲覧頂き、フォローをお願い致します。

*フォロー…他人の投稿を自分のページ(タイムライン)で見られるよう登録すること



Twitterアカウント
@jashonai730



Instagramアカウント
ja_shonai.marche



フォローしてね!

J A 庄内たがわも
SNSで発信中!



twitterアカウント
@JAShonaitagawa



Instagramアカウント
jashonaitagawa



山形県沖で地震 温海地区を中心に被害発生

6月18日22時22分、マグニチュード6.7の地震が山形県沖で発生し、山形県や新潟県において建物被害等が発生しました。

当JA管内では、鶴岡市温海地区を中心に瓦の落下、天井・壁の崩れ、亀裂などの建物被害が発生し、地域住民をはじめ多くの方が対応に追われました。

地震発生後、当JAでも関連施設や管内の被害状況の確認を行ったほか、共済担当職員らが被害に遭われた建物の確認のため即座に現地へ出向きました。



瓦がずれ落ちたため雨漏りに繋がった家屋も。



家屋の基礎部分に亀裂が入るなど、揺れの大きさを物語る。



温海地区では建物被害が多発し、屋根をシートで覆い応急処置をした。



温海支所の生産資材店舗では棚から商品が落下し、職員が片付けに追われた。



温海支所の生産資材店舗の入り口シャッターが大きく歪んだ。



Aコープあつみ店では飾り棚が激しく割れ、展示物が散乱した。

この地震により被災された皆様に対し、心よりお見舞いと一日も早い復興をお祈り申し上げます。

J A 庄内たがわ役職員一同

市場との連携がカギ、売れるスプレー菊へ

当JA花き部会菊・スプレー菊専門部は6月4日、JA花き集出荷施設で目揃え会を開いた。需要が高まる新盆や旧盆に向け、出荷規格等を入念に確認した。同席した市場担当者が、スプレー菊は用途が広く需要があることや一輪仕立てにして出荷すると売れ行きが良いとアドバイスした。今後も市場との連携を密にした高品質栽培に努めていく。

市場販売を意識し、出荷規格を確認

トルコギキョウの出荷が始まる時期に合わせ、当JA花き部会トルコギキョウ専門部は6月28日、JA花き集出荷施設で目揃え会を開いた。市場販売を考えし規格毎に葉かき目安を設定し、ソフトバケットからの水漏れを防ぐため切口を平行にすること等を留意点とした。また、土壌障害の防止のためハウス内の灌水を適正に行い、併せて病害虫防除の徹底を呼び掛けた。

排水・防除・土寄せがポイント

当JA長ねぎ部会員らは6月27日、藤島地区で圃場を巡回し、梅雨時期の栽培・圃場管理や生育状況を確認した。同行した県庄内総合支庁農業技術普及課の指導員は品質・収量の維持に向け、圃場に雨水が停滞しないよう排水対策を徹底し、病害虫の予防除をした上で土寄せを適期に実施するよう呼びかけた。また、病害虫防除は除草や適性施肥が重要であると説明した。

各社の最先端技術に注目集まる

6月8~9日、三川町のJA全農山形庄内農機センターでJA全農山形主催による「わくわく農業応援祭ビッグフェア2019」が開かれ、多くの人が会場は賑わいを見せた。農機や生産資材・生活家電等のメーカー約90社が出展。各社の最先端技術が来場者の注目を集めたほか、来場者を楽しませるイベントショーや高校生による創作料理の試食等も行われた。

J A NEWS

全4議案、原案通り可決される

当JA農政対策推進協議会は6月25日、JA本所で第25回通常総会を開いた。同協議会代議員をはじめ、行政関係者やJA役職員ら約90人が出席。令和元年度の活動計画を含む全4議案を原案通り可決した。

今後の活動計画として、基本農業政策実現ならびに、国際貿易交渉等状況に応じた断固たる姿勢での農政運動、水田農業対策については、需要に応じた米生産の推進、あわせて広報活動の強化、食農教育、地産地消の推進に取り組んでいくことを掲げた。



生態・環境の保全へ決意新たに

庄内町家根合地区でメダガが生育できる生態系の維持や地元児童への環境教育などを行うNPO法人・家根合生態系保全活動センター（佐藤昭一理事長）が地域環境保全功労者として環境大臣表彰を受けた。6月18日には佐藤理事長が同JAを訪問。宮崎専務へ受賞を報告し、環境教育・環境保全などの継続に向け決意を新たにしていくことを誓った。



地域とJAを結ぶネットワーク

各地の話題を追って

生育ステージに合わせた中耕・培土・追肥を

当JA枝豆部会員らは6月18~20日、管内の各圃場を巡回し、枝豆の草丈や葉数などの生育状況を確認した。庄内総合支庁農業技術普及課によると、5月の定植後の高温・乾燥により早生品種に生育停滞が見られたが、その後の降雨により回復し、概ね順調だという。今後は、病害虫への早期防除と生育ステージに合わせた中耕・培土・追肥を適期に実施していく。



中山間地でのニラ栽培に期待

当JAは鶴岡市と県庄内総合支庁農業技術課と連携し、朝日地区でニラの試験栽培を始めた。中山間地域では鳥獣被害が問題視されており、解決策として被害を受けにくいニラの生産拡大を図る。6月20~21日、JA園芸特産指導員や行政関係者、生産者が試験栽培の定植作業を行った。今年度から産地交付金におけるニラの単価を増額しており、農家の作付意欲を喚起し、出荷拡大と販売単価の更なる向上を目指していく。



防除の徹底により生育順調に推移

当JAミニトマト部会員らは6月24日、羽黒地区のハウスを巡回し、生育状況と栽培管理を確認した。同行したJA園芸特産指導員は、5月の高温で病虫害の発生が予想されたが、防除の徹底により順調に生育が進んでいると総括。夏季の高温で落花を防ぐためにハウスの遮光と換気が重要だと部会員らへ呼び掛けた。



収穫適期の見極めが重要

当JA加工なす部会は6月26日、羽黒支所で目揃え会を開き、取引先である羽黒・のうきょう食品加工(有)の出荷規格や検品体制を確認した。JAは、等級ごとに分けた原寸大のサンプルを用意し、A品収穫のタイミングを周知した。また、株全体に栄養を行き渡らせるための整枝・摘葉作業の徹底を呼び掛けた。



厳重な検品体制で安定した品質を

当JAブルーベリー部会は6月26日、羽黒支所で目揃え会を開き、規格外の過熟果や裂果等のサンプルを見ながら適正な熟度を確認した。JAでは未熟果の混入は産地評価の低下へ繋がるため混入しないよう指導していく他、生食用パック・加工用パラともに検品し、必要な場合は格下げも行うなど、より厳しい検品体制を敷き、消費者目線に立ち良品出荷へ努めていく。



十分な糖度を維持、顧客満足度向上へ

当JAさくらんぼ部会は6月14日、柳引支所で目揃え会を開き、出荷規格・形態などを確認した。今年の着果数は平年並みで十分な糖度を確保しており、品種「佐藤錦」や「紅秀峰」を中心としたギフト用などの取扱目標の達成を目指していく。JAは迅速な適期発送による顧客満足度向上を目指しており、7月中旬まで首都圏の市場等へ出荷していく。



△**庄内たかわ**産直
んめ農マリシェ
7/27(土)・28(日)
1周年感謝祭

イベント1 1周年感謝イベント開催!
つや姫・雪若丸 特価販売

イベント2 素朴な味わい!
両日先着 100名様 とちもち プレゼント

提携 JA商品 特売

贈答用 メロン各種 取り揃えて あります

イベント3 2,000円以上お買い上げの方
両日先着 100名様 たまご プレゼント

イベント4 甘くておいしい!
限定 200パック デラウェア特売

ポイント 5倍

写真、イラストはイメージです。
イベント内容が予告無く変更になる場合がございますので、
予めご了承ください。
皆様のご来店を心よりお待ちしております!

いたぐことができます。中の方には金利の優遇措置もございます。

なお、当JA住宅ローンをご利用シではネット事前審査（仮審査）がご利用いただけます。最短で当日回答も可能ですので、ぜひご利用ください。

詳しい商品内容、ご利用条件については、当JAホームページ、または各支所融資窓口までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

お問い合わせは各支所融資窓口まで
温海支所 0235-43-3411 三川支所 0235-66-2795
新余目支所 0234-43-4422 羽黒支所 0235-62-2143
立川支所 0234-56-2144 櫛引支所 0235-57-2993
藤島支所 0235-64-5837 朝日支所 0235-53-2512

ネット事前審査は
こちらから!⇒

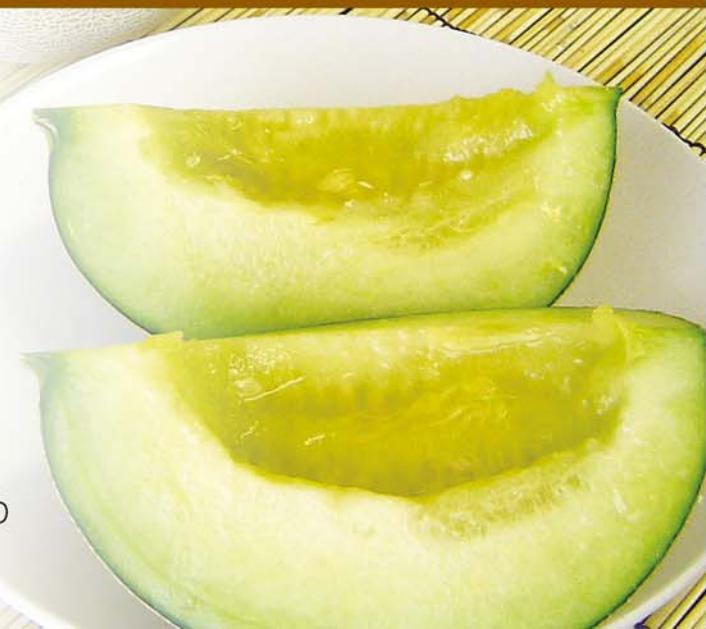


いーと アンデスマロン

肉厚でジューシーなアンデスマロンは、夏の贈り物にピッタリです。口に入れた瞬間、甘い果汁がたっぷりあふれます。思わず笑みがこぼれるそんな上品な味わいをぜひご堪能ください。

価格	4玉3L 2,500円(税込) 3玉4L 2,000円(税込)
発送	7月下旬~8月下旬
送料	全国一律 1,000円／箱

【お問い合わせ先】 営農販売部販売課
TEL 0235-64-4972 FAX 0235-64-4920



節引青年部が横浜で出前授業

当JA青年部櫛引支部員らは6月18日、横浜市立青木小学校を訪問し、稲作の出前授業を行った。櫛引地区の農業の歴史や田植えから収穫までの管理方法を指導した他、一緒に給食を食べるなどして親睦を深めた。



「田んぼで学ぶ」体験型イベント!

6月23日、庄内町で地域おこし協力隊主催の「タチあべ～田んぼって何だな？」が開かれた。稲の手植え体験やかかし作り、同町立谷沢産の農産物の直売など盛りだくさんの内容で参加者と地域住民が交流を図った。



農業融資相談会が好評

農機具購入や運転資金等を検討する方を対象に、当JA信
用部は6月22~28日、全8支所で農業融資相談会を開いた。
計35人が来店し、農業近代化資金やアグリマイティー資金な
どの説明に聞き入っていた。



温海女性部が奉仕活動

当JA女性部温海支部員らは6月4日、特別養護老人ホーム「温寿荘」で奉仕活動を行った。部員約30人が参加し、施設周辺の草刈りや花の苗の定植など、利用者が気持ちよく生活できる環境作りに貢献した。



共済カウンターセールスコンテスト
最優秀賞に佐藤朱加さん(朝日)

6月18日、共済窓口担当者の接客や提案力の向上を目的に、カウンターセールスコンテストJA庄内たがわ予選会を開いた。各支所の代表8人が、自動車共済の継続手続きとなる来店者対応と不足している保障部分についてのグレードアップ推進をテーマに、ロールプレイング形式で競い合った。審査の結果、最優秀賞に朝日支所の佐藤朱加さんが選ばれ、庄内大会出場を決めた。



心の声

七夕にかけるあなたの願い事は？

魚釣りでブラックバス60cmオーバーが釣れますよ
うに。

T・Mさん【群馬県】

7月から「幸齡元氣教室」に通います。皆さんについていけるかなあ。願い事は体重が減ってくれることです。

S・Mさん【新潟県】

息子の幼稚園年長組の目下の願い事は、水泳の進級合格シールを一枚貰いクロールに上ることがです。あとはガチャポンで狙っている「カマキリ」が出ることです。私もグリコやペコちゃんの「おまけ」に釣られました。5歳の願い事が叶いますよ。

S・Hさん【宮城県】

1年に1度でもいいから、憧れの人人に会いたい。
誰かは内緒です！

S・Nさん【櫛引】

地震には驚きました。夜空を見上げて願うことは平穏ですね。自然界の脅威と私たちの受け止め・備えが問われます。地球や宇宙のパワーはすごいなあ。

Y・Uさん【余目】

家族の健康です。病気知らずで家族が健康で毎日楽しく明るい笑顔で暮らせることが一番の願いです。

K・Yさん【朝日】

子どもの頃、七夕の朝に笪に乗った露で墨を磨ると習字が上達すると母が教えてくれました。現在

還暦を迎え、未だに効果は見えませんので今年あたり再度お願いしようかな。

E・Eさん【櫛引】



8月号のテーマ 「あなたの夏の過ごし方は？」



今月の
プレゼント

豊穣神話
甲州
2名様

aito

Jul 2019
No.292

JA庄内たがわホームページ

もっけだねっと 検索



JA庄内たがわ
ふれあい情報誌

発行／庄内たがわ農業協同組合 〒999-7611 山形県鶴岡市上藤島字備中下3-1
TEL.0235-64-3000 電子メール tagawa@ja-shonai.or.jp

印刷／庄内農村工業農業協同組合連合会



Instagram



ほんまなるみ
本間 成美さん(20)

温海支所管内

私が怪我をした時、患者の気持ちに寄り添って看病してくれる看護師の姿を見て、幼いころからの夢であった看護師になることを決意しました。現在は看護学校へ通いながら、国家試験に向けて実習や勉強に励んでいます。

休日は、ショッピングや昔から好きな夕日を見に海へ行くなど、日々の疲れを癒やし、リフレッシュしています。